

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」



150周年

遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ~子どもも 教職員も 地域も 伸びる学校~

成長への影響～スマホ・ゲーム～

スマホやゲームの長時間使用が子どもたちの成長に悪影響をおよぼすという話を聞いたことがあると思います。長時間使用により、脳の発達を阻害する実験結果も示されています。また、長時間使用の「脳疲労」による思考力の低下や感情コントロールの低下、寝不足による意欲低下なども指摘されています。遷喬小でも子どもたちの中から、夜中の12時ごろまで友達とSNSでやりとりをしていたといった様子を聞きます。子どもたちの健全な成長のためには、各家庭で「9時以降はスマホやゲーム機を親があずかる」などのルールも必要です。子どもたちは、今が楽しいを優先してしまいがちですが、大切なのは将来です。

6月12日(水)から「メディアコントロール週間」です。各家庭で使用のルールを考える機会にしてもらえればと思います。



運動遊びの奨励

遷喬小では、木曜日の昼休みは掃除時間をとらず、通常よりも長い休み時間にして運動遊びを奨励しています。木曜日に限らず、昼の放送で、運動委員会の児童が、「今日は天気がよいので、外で遊びましょう。おすすめの遊びは〇〇です。」といった放送をしています。

休み時間に多くの子どもたちが元気に運動遊びをしています。



水泳学習スタート

6月11日(火)、3年生が全学年のトップバッターとして水泳学習をスタートしました。3年生にとっては、初めてのプールで深さに緊張しながらも、陸上生活では味わえない水の世界を楽しみました。



修学旅行

6月13日(木)14日(金)、6年生が京都・奈良・大阪へ修学旅行に行きました。修学旅行の目的は、「集団行動力・社会生活力を高める」「歴史的建造物を実際に見て学ぶ」ことです。6年生の子どもたちから、集合時間を守る、他の観光客のことも考えて行動する姿を見ることができました。また、東大寺の大仏の大きさや、金閣寺の美しさに感動の声も聞こえてきました。出発式・旅館でのあいさつ・解散式など気持ちを切り替え、はじめのある態度で臨む姿を見せてくれました。修学旅行の目的を意識した最高学年らしい行動のできた2日間でした。



遷喬小150年の軌跡⑤

今回は、遷喬小の修学旅行の変遷をお伝えします。昭和30年頃は、フェリーに乗って四国へ渡り、屋島や金刀比羅宮などに行っていました。昭和39年には広島へ修学旅行に行った記録が残っていますが、昭和41年には、栗林公園と後樂園にも行っていたので、年によっていくらか行き先が変わっています。昭和48年から、神戸・大阪に行き先が変わりました。神戸ポートタワーや摩耶ロープウェー、大阪城などに行っています。昭和52年には、神戸・大阪・京都に行った様子が記録写真から分かりました。昭和57年から平成13年までは、広島に旅行先が変わりました。平和学習を兼ねて広島平和公園と歴史学習として宮島の厳島神社などに行きました。平成14年から、京都・奈良・大阪の修学旅行となりましたが、修学旅行とは別にしばらくの間、6年生は遠足で広島平和公園に日帰りで行き、千羽鶴を捧げていました。令和2年は岡山県北での旅行、令和3年は岡山県南での旅行、令和4年は広島・愛媛・香川を巡る旅行を実施しました。そして、令和5年から再び京都・奈良・大阪の旅行に戻りました。



昭和32年 屋島にて



平成13年 宮島にて